

Ⅲ 県央処理区維持管理状況

県央処理区は、県内の中心都市である、前橋市、高崎市をはじめとする10市町村を処理区域としています。

昭和53年度に事業着手し、昭和62年10月に6市町村で供用を開始し、平成10年8月にはすべての市町村で供用しました。

現在、管渠延長は約142.3kmで、県央水質浄化センターは5系列処理能力240,000m³/日で運転・処理しています。

令和2年度の事業

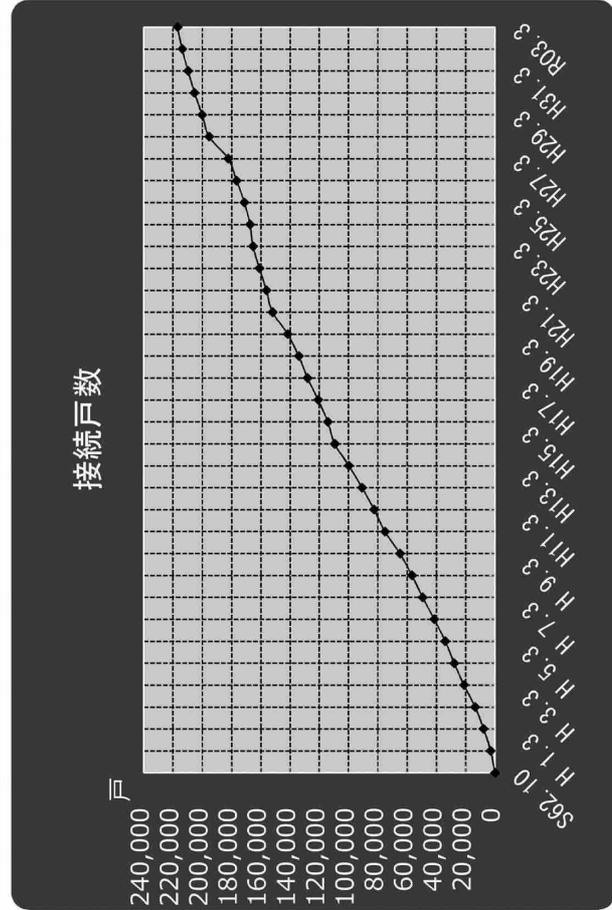
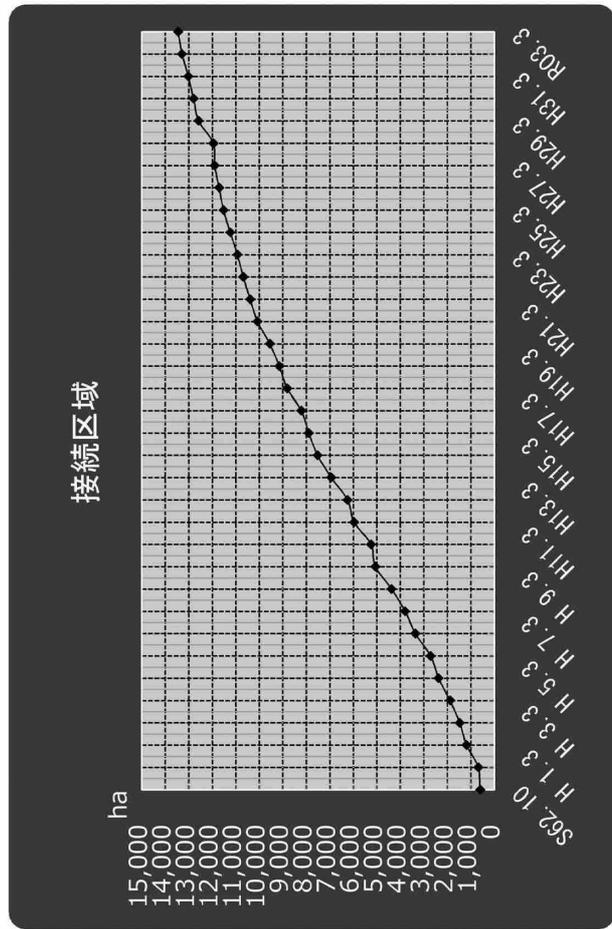
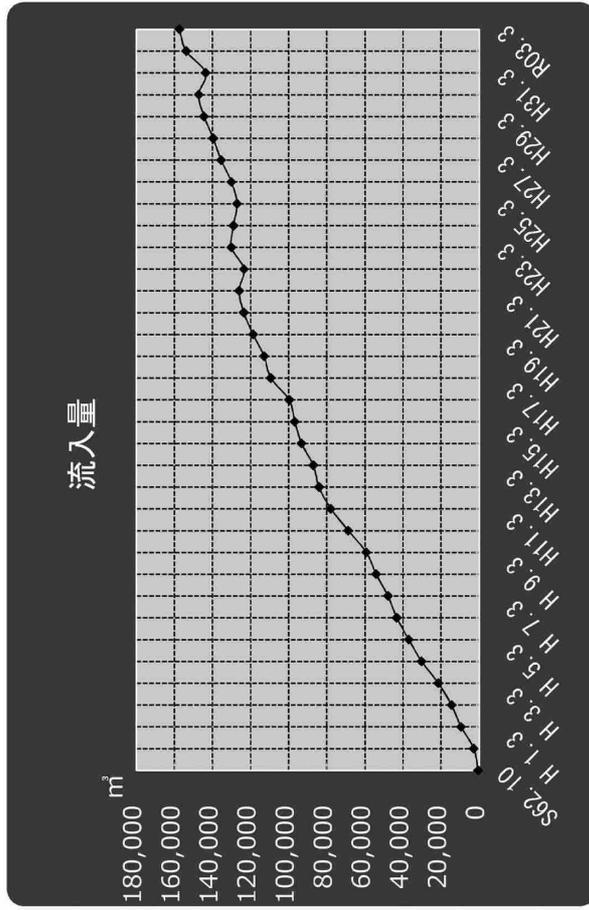
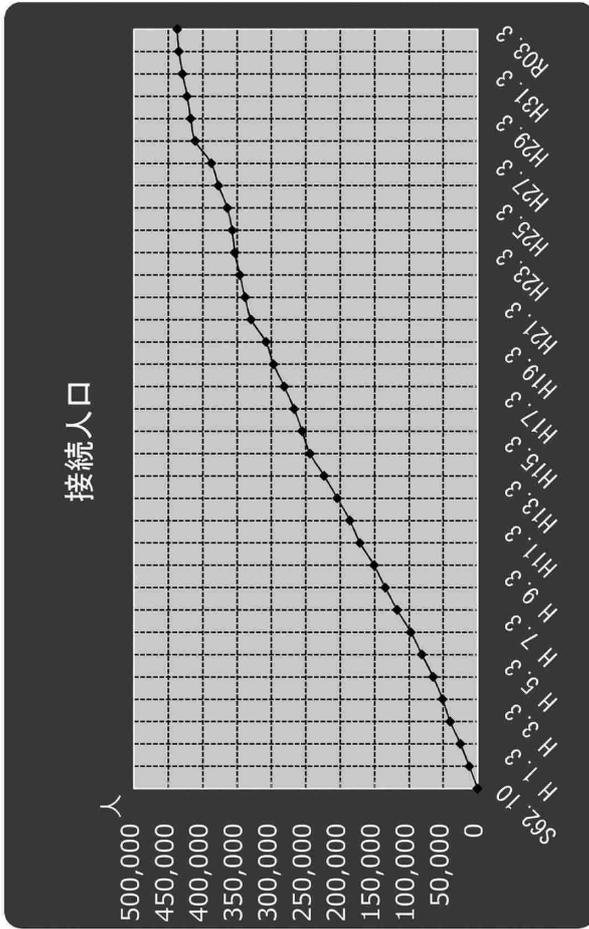
令和3年3月末現在、処理区域面積は13,463ha、接続人口は437,445人であり、約157,540m³の日平均汚水流入量を処理しています。

以下に過去15年間の推移の表と処理開始からのグラフを示します。

過去15年間の処理区域等の推移

	処理区域 [ha]	接続人口 [人]	接続戸数 [戸]	日平均流入量 [m ³]
H19.3	9,565	308,411	141,705	118,757
H20.3	10,082	329,771	152,152	123,669
H21.3	10,400	338,793	156,294	126,110
H22.3	10,692	346,173	161,077	123,638
H23.3	10,945	353,638	165,375	130,164
H24.3	11,245	357,401	167,567	129,052
H25.3	11,530	364,528	171,396	127,209
H26.3	11,717	377,230	176,737	130,206
H27.3	11,910	387,798	182,359	135,526
H28.3	11,964	411,256	195,459	139,768
H29.3	12,591	417,648	200,203	144,529
H30.3	12,806	422,907	205,407	147,376
H31.3	13,033	429,585	209,879	143,699
R02.3	13,297	434,880	213,937	153,934
R03.3	13,463	437,445	217,102	157,540

昭和62年10月からの処理区域等の推移



1 計画概要

(1) 計画概要

区分		全体計画	事業計画	令和2年度末現在		
項目						
1	事業年度	昭和53年～令和8年	昭和53年～令和7年	-		
2	関連市町村名	前橋市 安中市	高崎市 榛東村	渋川市 吉岡町	藤岡市 甘楽町	富岡市 玉村町
3	処理面積	20,332 ha	17,032 ha	13,463ha		
4	処理人口	574,800 人	507,400 人	482,539人		
5	施設の能力	339,400 m ³ /日	289,700 m ³ /日	240,000 m ³ /日		
6	排除方式	分 流 式				
7	処理方法	標準活性汚泥法+高速ろ過		標準活性汚泥法		
8	予定処理水質	BOD 10mg/L以下				
9	放流河川名	一級河川利根川				
10	環境基準	利根川上流(4) A-I				
11	汚泥処分方法	1/2は緑農地還元、セメント原料化 1/2は炭化処理		緑農地還元及び セメント原料化		
12	管渠延長 (放流渠を含む)	143.87 km				
13	処理施設等 敷地面積	県中央水質浄化センター 342,000m ²	玉村南ポンプ場 4,800m ²	北橋ポンプ場 660m ²	玉村北ポンプ場 4,940m ²	前橋ポンプ場 490m ²
14	事業費	1,786 億円	1,741 億円	1,502 億円		